

# 高活協通信(2024年7月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

## ◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

### ■お知らせ

- 今月の“「定年後の仕事」情報欄”は、団塊の世代が活躍する「労働者協同組合上田」の紹介です。
- 高活協ホームページを更新しました。
  - ・「高活協ホームページ」の URL は以下の通りです。

<http://www.agenomics.org>

高活協は会員の皆様に毎月 1 回「高活協通信」を配信させていただいております。この通信活動を会員の皆様と高活協とのコミュニケーションの機会とさせていただきたく考えております。つきましては、皆様のご意見や提供したい話題などがございましたら、本配信メールへの返信にてお寄せいただければ幸いです。

### ■2024年6月の主な活動

- 高活協は現在、比較的少人数の会議・イベント等、あるいは ZOOM 等を利用したオンラインの会議・イベント等を適宜実施しております。
- 2024年6月13日、高活協が加盟している高齢社会 NGO 連携協議会(高連協)が共催するイベント「日本老年医学会学術集会」に参加しました。その中で、高齢者の活動能力は向上しており、今や65歳以上を高齢者と呼ぶのは適切ではなく、75歳以上を高齢者と呼ぶことにしてはどうかとの提言がありました。
- 高活協は、東京大学などが中心となって設立した「一般社団法人未来社会共創センター」と協力関係にありますが、2024年6月27日に開催された同センターの総会に出席しました。総会では「役割を持って社会と関われる人生期間を貢献寿命と定義」することなどについて議論が交わされました。
- 今月の“「定年後の仕事」情報欄”では、2022年施行の法律に基づく労働者協同組合法人の事例として「労働者協同組合上田」について、厚生労働省のサイトから一部を抜粋して掲載させていただきました。
- 高活協ホームページの「アーカイブ」ページに、「高活協通信(2024年6月号)」を掲載しました。
- 2024年6月、生涯現役社会の実現に向けた行政や企業などの動向に関する情報収集を行いました。なお、「◆◆◆生涯現役社会の実現に向けてー トピックス◆◆◆」のコーナーでは、“「定年後の仕事」関連情報”を適宜掲載しています。

## ◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

### ■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.agenomics.org/>

## ◆◆◆高活協会員関連イベント等のご紹介◆◆◆

---

会員のご希望があればご紹介記事を適宜掲載させていただく予定です。

## ◆◆◆生涯現役社会の実現に向けて – トピックス◆◆◆

---

生涯現役社会は、「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」という 4 つの寿命の延伸が相乗効果をもたらす社会、すなわち「それぞれの寿命の伸びが相互に他の寿命も伸ばす」という好循環がもたらされる社会です。そんな生涯現役社会の実現に向けた最近の動きを紹介していきます。

**■ちょっとした話 – 「スポットワーク」は高齢者就労の機会を増やすことにつながるのか**  
スキマバイトとも言われる「スポットワーク」の市場が急拡大しています。スポットワークで働く人は若者からシニアまで幅広く、高齢者も収入や健康のために軽作業などのスポットワークで働いているようです。この短時間で単発の仕事に就く「スポットワーク」は、一般的に雇用契約を結ばないギグワークとは異なり、短時間・単発の就労を内容とする雇用契約を結ぶバイトと言えます。人手不足が続く中、スポットワークが高齢者の就労機会を増やすことにつながるのかどうか注目されるどころです。

### ■「定年後の仕事」情報欄

○2021年4月から施行された改正高年齢者雇用安定法(=70歳就業法)では、定年後の継続雇用だけでなく、継続的な業務委託や社会貢献活動への支援といった措置も選択肢になっており、高齢者の多様な働き方を後押ししています。

○今後このトピックスのコーナーでは、「定年後の仕事」に関連した情報を適宜掲載していきます。高齢者の就業を考える際の参考にしていただければ幸いです。

---

今回は2022年に施行された労働者協同組合法に基づき設立された労働者協同組合法人の好事例として厚生労働省のサイトでも紹介されている「労働者協同組合上田」(2023年3月設立)について紹介します。なお、労働者協同組合法施行後に設立された労働者協同組合法人は、2024年5月時点で93法人にのぼっている(日本経済新聞社)とのことです。

---

### 団塊の世代が活躍する「労働者協同組合上田」

ここでは、長野県上田市で、高齢者がいきいきと働く場を作ろうと、任意団体「ワーカーズ上田地域応援隊」を立ち上げ、その活動の中から、事業性が見えた営繕に関する事業を「労働者協同組合上田」(通称:労協

うえだ)として法人化し、現在、営繕に関する仕事を中心に事業を展開している労働者協同組合(労協)の事例を紹介します。同労協では、任意団体と労働者協同組合という二つの組織を連携させながら、ちょっとした手がほしい地域の身近な相談を地域の高齢者が仕事仲間としてお手伝いする仕組みを目指しています。

### 「新しい働き方」を自分が動けるうちに地元で！

自らが出資して、皆で仕事をつくり、そこで自らが働き、皆で配分するという「新しい働き方」を知り、自分が動けるうちに地元で取り組んでみたいと強く感じたことが活動の始まりでした。2021年、仲間3人で、任意団体として「ワーカーズ上田地域応援隊」を立ち上げました。まずは、月に1回の定例会議を開くことから始め、初年度は6回にわたり話し合いを重ねました。その後、農業の経験のない仲間たちが集いプロジェクト活動の一環で野菜づくりに取り組んでいるワーカーズユープ・センター事業団の「アグリプロジェクトチーム」との交流が始まり、遊休農地の再生と有効利用として「市民ふれあい体験型家庭菜園」を開くきっかけとなりました。こうした中で、任意団体「ワーカーズ上田地域応援隊」には、地域での実践活動として、農協の営農指導員の経験を活かしての「家庭菜園チーム」、電気工事資格を活かしての「営繕チームたすけ隊」、家庭菜園で採れた無農薬大豆を使つての「手作り味噌仕込み体験会」などに取り組む「農産加工チーム」や様々なチームを設け、各メンバーがそれぞれに所属して活動しています。

### 労働者協同組合で地域社会に役立つ仕事をする「第二の人生」

労働者協同組合法人を新規設立した動機は、このうち、2022年度に任意団体「ワーカーズ上田地域応援隊」が取り組んだ「営繕チームたすけ隊」の活動です。具体的には、仲間の中に電気工事の資格を持った人材がいたことから、ワーカーズユープ・センター事業団からの依頼を受け、1件のコミュニティスペースのリフォームと空調設備工事を受注したことがきっかけです。この経験と実績から、営繕に関しては事業性を持った仕事が可能と判断して、この営繕に関する事業を中心とした「労働者協同組合上田」(通称:労協うえだ)を立ち上げました。メンバーの多くは団塊の世代。高齢化社会問題は私たち高齢者が考え行動するという大胆な発想の転換が必要だと考えます。そして、新しい発想で「年金+α」の強みを生かした生涯ライフスタイルを構築し、第二の人生で地域社会に役立つ仕事をするという労働者協同組合の仕組みを活用し、「好循環型地域社会の実現」を提案していきます。

### 経験を生かして、楽しく、主体的に取り組む

何と言っても、楽しく仕事(活動)が出来ることです。とりわけ、労働者協同組合の活動での大原則は、自らが主体的に取り組むことです。言うまでもなく、命令されてやることは、楽しくないし、長続きしません。そのため、「ワーカーズ上田地域応援隊」の活動参加に当たっては、一人一人が主体的に参加すること、そして、必ず、活動チームに参加すること、もし、参加したいチームがなかった時は、自らが創り組織することを理念としています。基本理念は、労働者協同組合と共通するもので、今も新規設立した「労協うえだ」と、これまで活動してきた「ワーカーズ上田地域応援隊」の2本立て組織で活動しています。「ワーカーズ上田地域応援隊」で様々な実践活動を積み重ねながら、継続可能で事業性が見通しできた活動を「労協うえだ」で更に発展させるべく、そんな仕組みで取り組んでいます。この2つの連携した取組を今後も大事にしなが、まずは、実践活動に取り組みます。

## 高齢者仲間たちによる高齢者同士の助け合いが、地域問題の解決に！

新規設立をしたばかりなので、まずは地域や仲間の皆さんに信用され信頼される様な活動(仕事)をすることです。お陰様で、2023年4月には、地域の人からの紹介で、高齢者世帯のご夫人の方から、「自宅の屋根の塗装をしてほしい」「業者に頼んでも良いのだけれど、一人世帯なので不安がある」との相談を頂き、私たちの仕事3原則(現地調査・面談と打合せ・見積書と工程表の提出)に従い、最初の仕事を頂きました。作業は一か月ほどかかりましたが、お茶を出していただいた休み時間には、久しぶりに話が盛り上がり楽しい時間が過ごせました。出来上がりも、「期待した以上に、綺麗にできて良かった」と褒めていただきました。

私たちの活動の狙いは、高齢者仲間たちによる高齢者同士の助け合いが、地域問題の解決の糸口になることです。つまり、身近な相談事を地域に住む身近な高齢者たちが仕事仲間としてお手伝いする「労働者協同組合法」を活かしての仕組みづくりです。具体的には、地域包括支援センター・社会福祉協議会・まちづくり協議会など地域の皆さんと提携して、私たちの労働者協同組合が問題解決の受け手として様々な仕事集団を作って行くことです。これは時間がかかっても、地域になくはならない取組だと思っています。そして、待ったなしの少子高齢化社会の中で、新しい地域社会の在り方を見直し、その再構築を図っているものであり、この取組は、必ず様々な地域社会が抱える課題を解決していく道筋になるものと考えています。

### 基本情報(令和5年6月末現在)

法人名 労働者協同組合上田

事業所の所在地 長野県上田市新町52-2

設立 2023年3月24日

事業内容 水道・電気・空調設備工事など営繕、住宅整備・回収、庭木伐採・剪定・草刈、農地の再生・作付栽培・販売ほか

組合員数 6人

組合員の年代別構成 50代～70代

組合員以外の就労者 0人

売上高 255万円(年間見込額)

出資1口の金額 2,000円

出資の総口数 50口

---

以上の内容は、厚生労働省のサイトから一部を抜粋して掲載させていただいたものです。

---

◆◆◆「高齢者就労関連サイト」紹介コーナー◆◆◆

---

■高齢者雇用の総合誌『エルダー』のご紹介

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が発行する高齢者雇用の総合誌「エルダー」に関する情報は、下記の URL からご覧いただけます。

[啓発誌「エルダー」 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 \(jeed.go.jp\)](http://jeed.go.jp)

---

◆◆◆ ◆◆◆◆  
配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

---

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 17-2 兜町第 6 葉山ビル 4 階

TEL: 03-6555-3926      HP: <http://www.agenomics.org>

---